

議会のあり方調査特別委員会 広報検討分科会 記録

開 会 年 月 日	平成 30 年 6 月 25 日
開 会 時 刻	午前 11 時 23 分
閉 会 時 刻	午後 0 時 09 分
出 席 委 員 名	◎浜口 和久 ○吉井 詩子 宮崎 誠 久保 真
	北村 勝 岡田 善行 品川 幸久
欠 席 委 員 名	—
署 名 者	—
担 当 書 記	野村 格也
協 議 案 件	1 いせ市議会だより第52号の発行について
	2 議会の I C T 化について
説 明 者	山口調査係長、野村主事

会議の概要

浜口会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り、「いせ市議会だより第 52 号の発行について」及び「議会の I C T 化について」を議題として協議し、議会の I C T 化についてはスマートフォンを活用した I C T 化の推進等、できることから実施していくことを決定し、分科会を閉会した。

なお、詳細は次のとおり。

協議の内容

1 いせ市議会だより第 52 号の発行について

(1) 発行日程について

9 月 1 日号の広報いせと同時配布を予定した発行日程案が了承された。

なお、次回の広報検討分科会は、7 月 11 日水曜日の本会議閉会后、次々回は、7 月 30 日月曜日の午前 10 時に開催することに決定した。

(2) 掲載記事構成について

これまでの号で掲載してきた共通の記事及び「議員研修会」、「広報検討分科会行政視察」、「表紙写真募集」についての掲載案が了承された。

(3) 表紙案について

今回号の最終校正までに、庁舎改修後のリニューアルした議場で全議員が揃うタイミングがあれば、その際の写真を表紙にしてはどうかとの提案があったが、現時点でその予定はないため、仮にそういった機会の調整対応ができた場合には検討してはどうかとの意見があった。

また、事務局から、次回 12 月 1 日号（第 53 号）からは表紙写真を募集することになるため、今回は当分科会委員のほうで写真を撮影してきていただき、市民から募集し、表紙写真を選ぶイメージを経験してみてもどうかとの提案があり、概ね委員間で了承され、7 月 27 日金曜日を期限として、各委員が撮影してくることと決定した。

(4) 裏表紙の記事について

表紙写真募集を大きく取り上げる記事が事務局から示され、その掲載案が了承された。

(5) 題字募集の景品について

事務局から景品例の提案もあったが、他の公募事例を調査及び参考とし、次回以降で協議することとなった。

2 議会の I C T 化について

伊勢市議会の I C T 化について、本分科会でこれまで何度か協議してきたが、庁舎改

修により議場のw i - f i の整備や大型スクリーンの設置は実施される予定であり、議会放送の生中継の実施やタブレット端末の導入等についても、今後の方向性を検討していかなければならないことを確認した。

また、先日の行政視察を終え、タブレット端末導入の先進地である秦野市と飯能市の詳細な事項について、参考となる点を留め直し、導入に関してはメリットもあるが、毎年経費もかかる等デメリットもあり、慎重な議論が必要となることを確認した。

タブレット導入に際しての検討事項としては、費用対効果の検証を行うこと、代替案も検討すること、ペーパーレス化には当局との調整が必要であること、当分科会外の全議員も含めた意思統一等が必要となること等が課題として挙げられ、まずは現状各自が持っている携帯電話やスマートフォンの活用等、無料でできることから実施してはどうかと意見があった。

続いて、タブレットとスマートフォンを活用した場合のメリット、デメリットを比較検討し、災害時の情報収集及び当局の報告、議会事務局及び当局からの議員への連絡等はスマートフォンの活用でも十分効果を発揮でき、費用もかけずにできることから、あえて拙速的にタブレットを導入するまではなく、議会のI C T化としてやれることからやっていってはどうかという議論がなされた。

そして、まずはスマートフォンを活用したメールでの通知連絡等、できることから実施していくことを決定したため、事務局で各議員のスマートフォンの保有状況等を調査することとなった。

次回開催は、7月11日水曜日の本会議閉会後に開催することと決定し、閉会した。

上記署名する。

平成30年6月25日

会 長